

みんなの町議会



目次

- 9月定例会の経過 2~3
- 決算特別委員会 4~7
- 常任委員会の焦点 8~9
- 一般質問に5名登壇 10~15
- あれ なんと なったべが! 16
- 陳情・議員研修報告 17
- 楽しんでます・がんばってます 18

No. 132

2017年10月1日

老人クラブ花壇から森山を望む

災害復旧予算を可決

9月 定例会

議会の経過

9月定例会は9月1日から13日までの13日間の日程で開かれた。

初日、渡邊町長は行政報告で「7月16日、22日から23日の豪雨被害は総額4億6,316万円と推計されており、県に対し要望書を提出し、早期復旧と事業費の支援をお願いした。1日も早い復旧に取り組み、今後も災害による被害を未然に防ぐため、万全を期す」と述べた。

行政報告の後、決算特別委員6名を選出し、決算特別委員会を設置した。

2日目の一般質問では、5人が登壇。自殺対策、クマ対策、子育て支援策、中小企業支援策、防災対策などの質問をした。

3日目、平成28年度一般会計歳入歳出決算など各会計の決算認定、平成29年度五城目町一般会計補正予算、町道の路線認定など15件の議案が提出された。

各常任委員会・決算特別委員会にて5日間審査を行った。

最終日は決算特別委員長報告、各常任委員長報告の後、全議案を認定・可決した。また陳情1件を採択、1件を不採択、委員会提出議案1件を可決し閉会した。



第3回
臨時会
8月8日

提出議案

平成29年度五城目町一般会計補正予算（災害復旧事業）を審議し、全会一致で可決した。

◆豪雨災害状況（7月16、22～23日）

	被害項目	被害の概要	数量	被害報告額(千円)
建設課	河川	護岸の決壊	13箇所	77,000
	道路	道路法面と路肩の決壊	6箇所	38,000
農	水稲	土砂流入、冠水	65.5ha	7,373
	大豆	土砂流入、冠水	23.5ha	1,950
	枝豆	冠水	6.0ha	2,641
林振興課	農地	田法面決壊、土砂流入による排土	26箇所	64,000
		用排水路決壊	21箇所	81,000
	農業用施設	揚水機浸水	5箇所	28,000
		農道路肩崩落	3箇所	8,000
		ため池堤体決壊、崩落	2箇所	12,000
	林道施設	橋梁橋台洗掘	4箇所	54,000
		頭首工本体一部流出	2箇所	8,000
林道施設	路体崩落、路面洗掘、法面崩落、	37箇所	81,200	
治山災害	山腹崩落	27箇所		

（佐藤 慶彦）

	被害項目	被害の概要	数量	被害報告額(千円)
住民生活課	浸水(住家)	床下浸水	7棟	
	浸水(非住家)	浸水	11棟	
	全壊(非住家)	土砂崩れ	1棟	
	総合計			463,164

◆豪雨災害状況（8月24～25日）

	被害項目	被害の概要	数量	被害報告額(千円)
建設課	河川	護岸の決壊	8箇所	67,000
	水稲	土砂流入、冠水	31.5ha	77,333
農林振興課	大豆	土砂流入、冠水	4.8ha	752
	枝豆	土砂流入	0.3ha	550
	農地	田法面決壊、土砂流入による排土	13箇所	43,000
農業用施設	用排水路決壊、揚水機浸水、農道路肩崩落、ため池堤体崩落		13箇所	65,000
	浸水(住家)	床上浸水	1棟	
住民生活課	浸水(住家)	床下浸水	10棟	
	浸水(非住家)	浸水	32棟	
	浸水(公共施設)	床下浸水	1棟	
	総合計			253,635

（9月13日現在）

3 度に渡る**豪雨災害**

大きな爪痕を残す



山腹が農地に崩落した内川の大四郎沢地区



護岸が決壊し農地に流木や土砂が流入した門前地区



護岸が洗掘され流木や土砂が流入した北ノ又地区

決算特別委員会 報告

平成28年度一般会計を賛成多数で「認定」



4日間に渡り審査



委員長
佐藤 重信

審査日程

- 9月1日 決算特別委員会設置、委員選出、
正副委員長選出
- 9月6日 委員長挨拶・審査方針説明
午前 消防本部 議会事務局 出納室
午後 税務課 まちづくり課 総務課
- 9月7日
午前 建設課
午後 農業委員会 農林振興課 商工振興課
- 9月8日
午前 生涯学習課 学校教育課
午後 住民生活課 健康福祉課
- 9月11日
午前 現地視察(旧大川小学校<のぞみ>・矢場埼住宅・
町道町山線・西磯ノ目町内会倉庫)

▼追加審査(税務課・健康福祉課・生涯学習課)

- 公職者の町税など滞納について
 - 公職者の選定方法について
- 委員決算認定採決
委員長総括

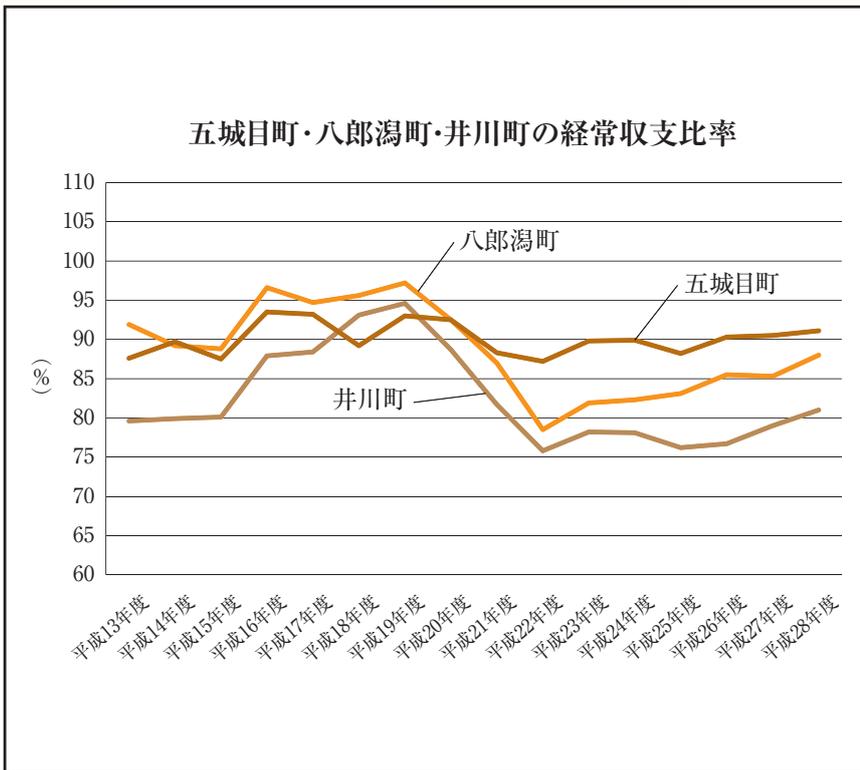
決算特別委員会とは

決算特別委員会は、決算が議会に提出された際、その審査のために設置される。町議会では9月定例会の際、委員会を設置し、一般会計決算、特別会計各決算、水道会計決算が提出され審査する。今年度は各常任委員会から3名が選出され6名の委員で構成された。

参 与	委 員	委 員	委 員	委 員	副 委 員 長	委 員 長
(議会議長)	小林 正志	佐々木 仁茂	佐藤 慶彦	椎名 志保	荒川 洋子	畑澤 重信

決算特別委員会

依然として硬直した町財政 将来への負担は重く



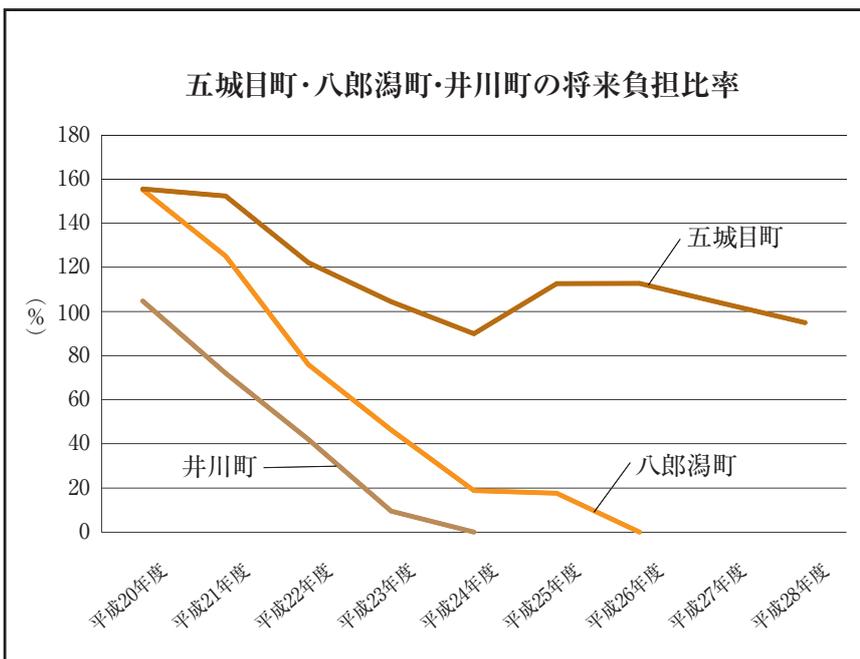
低いほど良いとされる経常収支比率

経常収支比率とは

財政構造の弾力性を測定する指標。比率が低ければ低いほど財政運営に弾力性があり、政策的に使えるお金があることを示している。

将来負担比率とは

将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高を指標化し、将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標。この比率が高いと、将来的に財政が圧迫される可能性が高くなります。



高いほど将来的に財政が圧迫される

小坂町の次に高い将来負担比率

町 村 名	経常収支比率(%)	将来負担比率(%)
五 城 目 町	91.1	94.9
東 成 瀬 村	93.4	—
羽 後 町	88.2	38.1
八 郎 潟 町	88.0	—
美 郷 町	84.6	—
八 峰 町	90.7	3.6
藤 里 町	83.0	38.7
小 坂 町	99.9	123.7
三 種 町	85.0	13.4
大 潟 村	87.2	45.3
上小阿仁村	81.4	—
井 川 町	81.2	—

決算審査

公職者の税金滞納 解消されず

消防本部

有事の際の消防団員への連絡がまちまちであるため連絡系統を整備するよう指摘した。また消防団員の募集にあたり年報酬、退職金、傷害保険、消防団年金などの福利厚生をPRするよう当局に求めた。

議会議務局

タブレット端末導入後の課題として、各種事務連絡もタブレットを活用出来るようにとの意見があった。

町が補助金などを支出している財政援助団体への監査を今後実施するよう指摘した。

税務課

税の徴収にあたっては職員2人一組の4班体制で成果を上げているとの説明があった。

まちづくり課

地域活性化支援センターは28年度は7企業が入居し、29年9月現在は15企業が入居している。昨年は20団体の視察があり、今後は有料化を検討するようにとの意見があった。

25から28年度までのあきた未来づくりプロジェクト事業は20町内会の集会所が改修され、71町内会で地域の活性化



地域活性化支援センター 現在は15企業が入居

建設課

が図られた。県から2億円の補助金で屋内温水プールの改修をしたが、多額の借入金による事業であり、将来負担につながったとの意見も出た。

住民から除雪業者の除排雪の仕方に關して相談が多いことから、現場に赴いて技術指導をしているとのことであった。

農業委員会

また、除雪単価の設定について質問があり、県の単価を参考にしていないとの説明があった。尚、最低補償は50時間としている。

農業者年金の受給者は143名で、支払いをしている加入者は9名で、加入者を増やす努力をするよう指摘した。

商工振興課

観光施設の管理運営で赤倉山荘、益城庵は利用客、収入



利用客が増えている赤倉山荘

額とも増加しているが、悠紀の国五城目と清流の森は利用者、収入額ともに減少しており営業努力が必要であるとの指摘をした。

生涯学習課

内川地区総合生きがいセンターの施設管理委託料が地区公民館の中で一番高いのはなぜか、との質問に旧内川小体育館とグラウンドの維持管理料が含まれているためとの説明があった。

地区公民館職員の任命にあたり、要項を整備し、任命するよう強く求めた。

学校教育課

放課後児童健全育成事業の400万の工事請負費は、高学年が利用する「わかすぎくらぶ」の耐震工事であり、学校と耐震基準が違うため、工事を行った。

住民生活課

岩手県大槌町への復興支援米事業について、現地住民の中に不要という意見もあることから、物の支援から人的交流に切り替えてはどうかとの意見があった。

空き家対策の地域おこし協力隊について、まちづくり課の協力隊に比べ活動内容が見えにくくなってしまふことから、活動が見えやすくなるような情報発信をするよう指摘した。



小学校内にある「わかすぎくらぶ」

健康福祉課

各種健診の受診率が27年度より低下しており、受診者の高齢化に伴い会場の選定や交通手段についても今後検討するようにとの意見が出た。また、人間ドックの利用に関して周知徹底するよう指摘した。

介護保険特別会計

滞納期間によって利用負担の割合が増加するペナルティがあることから、滞納者には



町内にある空家

制度説明を十分するように指摘した。

下水道事業特別会計

加入率は70・7%である。本町部は間口が狭いことにより工事費が高くなることから、加入率の低下の一因となっているとの説明があった。

簡易水道事業会計

馬場目地区249戸、杉沢地区30戸が29年度より水道事業会計に統合される。

水道事業会計

給水人口163名・給水件数18件の減であるが大規模な漏水事故もなく無効水量の減少により、給水原価が27年度より安く抑えられたとの説明があった。

追加審査

公職者の税金や保険料の滞納について決算特別委員会で再三に渡り指摘してきたが長年解消されていない。公職者の中には多額の滞納があり、状況は悪くなっている。課を横断して連絡を取り、公職者の任命にあつてはよく精査をするよう強く指摘した。

決算認定採決

28年度一般会計決算は27年度の課題が解消されていないことから一部反対の意見があったが、賛成多数で認定すべきものとした。

他特別会計決算は全会一致で認定すべきものとした。

(佐藤 慶彦)

3度にわたる豪雨災害 被害額6億5千万円

総務産業 常任委員会



高田地区、水田土砂流入



恋地地区、水田流木流入

8月24～25日にかけて発生した豪雨災害の復旧工事請負費として、2億386万円を補正。(7月と合計約6億5千万円)
8月の被害状況は、農地関連が26カ所、河川が8カ所。災害査定は10月下旬になると説明があったが迅速な復旧に努めるよう指摘した。

ふるさと五城目会会員の、橋本芳子様(東京都)から木彫刻像寄贈の申し出があった。母親が当町出身の橋本様の夫で彫刻家橋本堅太郎様の作品。役場正面玄関ホールに設置予定で、設置に係る費用46万5000円を補正。



寄贈される木彫刻像「希ねがい」

(荒川 滋)

クマ対策充実が図られる



頻発するクマ出没対応に追われる隊員

この4月から猟友会に鳥獣被害対策実施隊の年報酬4000円を支払うことになったが、さらなる充実を図るため補助金を補正。
内容は、
・有害鳥獣駆除事業補助金 16万4000円。
・新規狩猟免許取得支援 84万円。(3人分)
・ライフル銃等購入支援 14万円。(2人分)

町に木彫刻像が寄贈される

教育民生 常任委員会

五城目小学校改築事業 9月中に設計業者を公募

6月定例会において、五城目小学校建設地を雀館運動公園内としたことで、これまでに用地測量、学校施設に必要な基本的な延床面積の積算などを行っている。

9月中に設計業者を公募し、プロポーザル方式による選定を行う。

決定した設計業者と契約を結んだ後、どんな学校にしていくのか、町民の皆さんの意見や考えを聞く場を設けることにしている。

そして、その声を基本設計に反映させていきたいと町は考えている。

その後、今年度中に埋蔵文化財の試掘調査、地質の調査などを行う予定である。



新校舎を待ち望む児童たち

プロポーザル方式とは

主に業務の委託先や建築物の設計者を選定する際に、複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること。

慎重な消防団の再編を

消防団の再編が検討されている。再編案は、現在13の分団制を各地区ごとに再編し、本町部を南北に分け、北に森山地区を、南に馬川地区を編入、また馬場目・富津内・内川・大川の各地区の分団をそれぞれ統合するものである。しかし、団員の減少による地域防災力の低下を招きかねないとの声もあり、慎重な再編を望むものである。



出初式での堂々の行進

防災行政無線 今後の建設スケジュール

▼平成29年9月19日

5業者が参加し、内容について企画提案されたものを審査し、評価の最も優れた業者を決定。

▼平成29年9月下旬～11月上旬

決定した業者が現地調査し実施設計を行い、正式な金額を算出、仮契約。

▼平成29年11月中旬(予定)

臨時議会において、契約案件を上程、議決された業者と本契約。

平成31年3月下旬までが工期。

▼平成31年4月1日

運用開始



屋外スピーカー設置イメージ

(椎名 志保)

一般質問

5議員が登壇 ただ 20項目を質す

一般質問とは？

一般質問は、年4回（3、6、9、12月）の町議会定例会において行われます。

議案とは関係なく、町政全般にわたって議員主導による政策論議であり、通告性が採用されています。

一般質問をするかしないかは、議員個人の判断によります。

*五城目町議会では、質問者1人につき持ち時間は60分（質問・答弁含む）となっています。

質問者

畑澤 洋子 議員

- 生きる支援で自殺を防ぐ
- 「地域防災の要」消防団に活気を
- 災害発生時の避難所運営について
- 防災無線、家庭に個別受信機を

荒川 滋 議員

- 豪雨浸水被害の対応は
- 消防団について
- クマ対策について

椎名 志保 議員

- 子育て支援について
- 外国人居住者の日本語習得の支援について
- 小学校における英語の教科化について
- 豪雨の際の家屋への被害防止策について

佐藤 慶彦 議員

- 中小企業支援を拡充させ地域活性化と雇用の創出を
- 教育のさらなる充実策を
- 学生消防団認証制度について
- 指定管理者に関して
- 空き家対策について
- インバウンド対応について

斎藤 晋 議員

- 防災計画について
- 除雪事故について
- クマの被害について

*誌面の関係上掲載できなかった●印の質問については、町ホームページにて議会映像を配信しておりますのでそちらをご覧ください。

一般質問

自殺対策に「生きる」支援を

町長 役場庁内の横断的体制で連携を図る



畑澤 洋子
(公明党)

畑澤 7月25日閣議決定の自殺対策大綱は、全市町村に「自殺対策計画」を義務づけた。改正のポイントの一つに子供・若者に焦点をあてている。自殺の原因は一つではなく、さまざま重なっている。庁内横断的対策チームが必要ではないか。

町長 「弁護士による何でも無料相談会」で、町が対応できない相談にも対応してきた。市町村に義務づけられた自殺対策計画に役場庁内の横断的な推進体制を盛り込み、利用者の利便性や質の向上に努めていく。



女性消防団員も活躍!!
全国で女性消防団が活躍している (総務省HPより)

「地域防災の要」消防団に活力を

畑澤 今後おこりうる災害時の人手不足を、年報酬や費用弁償などの引き上げによる処遇改善で、大学生や若者の入団推進を。

女性消防団を結成し町民に「元氣・安心・活力」を与えてほしい。

町長 処遇改善を検討している。団員募集と併せ女性の入

防災行政無線に 屋内個別受信機を

団に向け努力している。誕生の際は女性目線ならでの広報活動に力を入れていく。

畑澤 町民の半分は女性。消防署職員に女性の採用を。

町長 門戸は開けている。公平公正な試験結果で優秀な女性消防署員の誕生を心待ちにしている。

畑澤 防災行政無線の屋外スピーカーは強風や大雨などの地理的条件で聞き取りにくい。糸魚川大規模火災で死者が出なかった事例を参考に当町でも個別受信機対応を。

町長 防災行政無線本体を建設後、受信できない地域は個別受信機を設置する。

災害時の避難所運営は

畑澤 内閣府避難所運営ガイドラインには、住民が主体となっていくべきとなっている。今夏の避難所開設時の対応はどうだったか。

障害のある人が避難所での支援を受けやすくなる災害用バンドナを作成してはどうか。

町長 避難所運営マニュアルの作成を進めている。避難所開設時、各施設に職員を2名ずつ配置し、受け付け・体調管理・食事の提供・町警戒対策室との連絡などを行った。今後各個人が状況に応じた支援を受けられるよう個別計画を作成し災害用バンドナも検討する。

一般質問

豪雨浸水対策で 用水路のかさ上げを

町長 水利組合との合意形成が必要で容易 ではない



荒川 滋

荒川 この度の豪雨で再び田町杉ヶ崎地区の住宅が浸水した。原因の一つである私有地暗渠排水路整備が無理ならば、住宅北側用水路のかさ上げを。恒久的なものが無理なら大型土のうでの応急措置を。同時に、該当住宅敷地に水中ポンプの常備を。

町長 用水路かさ上げについては管理している水利組合との合意形成が必要で容易ではないと考える。大型土のうでの応急措置は地形的に設置スペースがない。水中ポンプ設置については関係団体と協議したい。

戸村堰添いの 建物浸水対策は

荒川 戸村堰添いの下タ町地区でも再び浸水。その都度消防団が出勤し土のうでのかさ

上げ作業をするが地形的に浸水を食い止められずにいる。平成26年3月定例会一般質問を経て、土地改良区と協議してきたと思うがその進展は。

町長 農業用水路壁面のかさ上げは受益者負担が発生するため理解を得ることは出来ない状況である。

荒川 浸水建物への今後の町の具体的な対応は。

町長 人命を第一に考え注意喚起をするとともに、個々に違う対策を実施していく。

荒川 ひとが幸せ・元氣・安心を感じられるようお願いする。

五小建設予定地近くの冠水対策は

荒川 雀館幹線の浸水に対する今後の対策は。

町長 小学校建設と並行し、集中排水対策を行っていく。

荒川 新たな通学路の安全総点検を。そして現状と対策を全町民に知らせるべき。

教育長 通学路になる道路については安全総点検を実施し、ハード・ソフト両面対策を講じる。町民に周知していく。

消防団再編の統合は必要最小限に

荒川 現在進められている消防団再編による統合について全分団の理解は得られていない。定員を二割削減しようとしてもしている。消防庁からは、実数との間に乖離がある消防団の定員削減には特に慎重を期すようにという通達が出ている。消防団応援の店制度がスタートした今、団員確保に重点を置き、現時点での再編統合は必要最小限にとどめるべきだ。

町長 様々な取り組みをしているものの、団員確保には結びついていない。再編にあたり、機別消防団員や女性消防団員の確保にも全力をあげて取り組む所存であり、五城目町の消防団全体としての再編と理解していただきたい。



地域防災の要である消防団

クマ対策、今後の見通しは

荒川 森山森林公園内での出没により、立ち入り禁止、森林資料館無期限閉館、行事の中止、小学校グラウンド使用制限などの影響が出ている。今後の見通しは。

町長 猟友会・町職員によるパトロールを行い被害防止に努めている。

荒川 今年度より鳥獣対策実施隊年報酬4千円が支給された。金額の見直しは考えているか。

町長 補助金16万4千円を増額補正し待遇改善を図る。

荒川 地域挙げての応援と理解を広め会員増に結び付けるべく、消防団応援の店同様の取り組みを猟友会にも広げてどうか。

町長 猟友会の意見も参考にし検討する。



入山禁止が続く森山森林公園

一般質問

子育て支援の今後の展開は

町長 県と協働し、脱少子化を図っていく



椎名 志保



徐々に進む子育て支援

椎名 8月に開設された子育て支援センター「こどもの木」が、より活用されるように「もりやまこども園」との連携を密にし、出会い・子育て情報サイト「ARUCO」で有効に情報発信していくよう改善すべきではないか。

町長 支援制度の満足度向上に努め、改善していく。主婦や若者、移住者、親世

代など町民14人の委員によるプロジェクトチームを設置し、支援施策を検討していく。
椎名 若い世代の移住・定住をより進めるため、妊娠・出産から就学前までの育児を切れ目なく支援する五城目版「ネウボラ」の整備が必要ではないか。

町長 国から「ネウボラ」と同じ役割を果たす「子育て世代包括支援センター」の設置に努めるよう通知されている。しかし単独では課題も多く、近隣町村と連携して設置できないか検討していく。

外国人居住者の日本語習得支援は

椎名 町内に居住する外国人の方に對し、日本語教室を行い、生活基盤を整えて就労につな

げる支援をすべきではないか。
教育長 外国語での読み聞かせや料理教室などの「国際理解講座」や「英会話教室」を通して、外国人居住者と町民との交流を図り、言葉やお互

いの文化の理解に努めている。日本語習得の支援については、外国人居住者の意見を聞きながら検討していく。

小学校での英語の教科化への対応は

椎名 小学校での英語が2020年度から5、6年生は教科となり3、4年生では外国語活動として新たに行われる。「五城目で世界一周」と題し、国際教養大と連携した英語教育を特色としている我が町では、来年度からの移行期間にどのよう準備を進めていくのか。

教育長 文部科学省から出される指導資料や教材、県内の研究指定校の成果などを参考にしている。また、研修会へ積極的に参加することで指導体制を強化し、小・中で授業研究を行うなど連携体制を構築し、小学

家屋への豪雨被害防止対策を

椎名 この夏の3度の豪雨により、家屋への床上・床下浸水被害が相次いだ。町民の安全で安心な生活が脅かされる家屋への被害防止策に、より力を入れるべきではないか。

町長 現地確認を行い、危険な原因が町に起因したもののや公共性のあるものであれば、危険を回避する工事などを公共事業として実施できるように努める。



英語・外国語活動の充実を

校教員の英語指導力の向上に努める。
椎名 ALT（外国語指導助手）の負担が益々大きくなることが予想される。町内の外国人居住者を地元のマンパワーとして有効に活用することは出来ないか。
教育長 外国人居住者や外国語が堪能な外部人材を外国語活動支援員として、採用を検討していく。

一般質問

企業立地推進基金を活用し 中小企業支援を

町長 条例改正などの準備をしておきたい



佐藤 慶彦

佐藤 平成23年度に積み立てた企業立地推進基金が活用出来ていない。現状の条例では主にハード部分にしか活用できない。誘致も大事であるが、町内企業の雇用につなげるためにも人材育成や経営指導などのソフト部分へ活用出来るよう条例を改正すべきだ。

町長 基本的には、本来の目的である優良企業の誘致を目指すし、その面整備などに活用したい。町総合戦略の実施期間である平成31年度までは過疎債などでソフト部分の充実を図るものの、必要な時に必要な支援が実施できるように条例改正などの準備をしっかりとっておきたい。

佐藤 中小企業支援策として、行列のできる経営相談所「f-Biz（エフビズ）」のようなビジネス支援センターの設置を。企業立地推進基金とふるさと納税を財源とすれば十分設置できる。腹を据えて

中小企業支援を実施する時が来た。

町長 静岡県富士市の「エフビズ」は、中小企業のコンサルティングを中心に、事業者に着した伴走型の個別支援で大きな成果雇用を上げている。

従来型の支援制度や資金支援などの紹介や提供では出来なかつた中小企業の活性化につながつており、素晴らしい取り組みである。

ICT教育の充実を

教育長 小・中学校とも1クラス相当分と教職員分を加えたタブレット端末が42台ずつ、計84台を夏季休業中に整備・導入し、幅広い場面で活用することが可能になった。

佐藤 ようやく1人1台利用が出来るようになったが、それをこれからどう生かすかが今後の課題であり、教員の情報面での支援も今後必要だ。



タブレット端末の1人1台利用が可能に

町では、商工会、金融機関、地域活性化支援センターの入居企業や地元企業などのメンバーで構成する民間組織「ドチャベンジャーズ」を立ち上げ総合戦略における「しごとづくり」や「移住・定住対策」の取り組みを連携して行うこととしており、エフビズモデル的な支援活動につながる可能性もあることからまずはこの取り組みを支援していきたい。

改築される小学校 図書室の住民開放 への検討状況は。

教育長 一般に開放するとなれば、小学校以外の図書も置くことになり、面的な問題も考慮しながら基本設計の策定段階において検討していく。

空き家対策の状況は

町長 平成29年6月現在空き家の総戸数は310戸で特に危険と思われる空き家は現地の立ち入り調査を行い、解体・撤去の助言・指導を行っていく。

佐藤 今後は空き家になる前に家族や地域で事前対策を施すことが重要となってくる。

住民生活課長 確かな効果が期待できる考え方であり検討していきたい。

一般質問

安心して暮らせる豪雨対策を

町長 被害を最小限に抑える対策をしているが、根本的な解決には至っていない



齋藤 晋

これでいいのか

豪雨対策

齋藤 7月22日(土) 午後1時、町内の5地区680世帯1572人に避難勧告を発令した。町の職員は何人動員されたか。

町長 第2配備で、35人の町職員を動員した。

齋藤 各地区に避難所を開設したが、避難者は何人であったか。避難所には何人の町職員を配置したか。

町長 避難者は、富津内地区公民館に2人、大川環境改善センターに3人の計5人。町職員を2名ずつ派遣し受付・体調管理・食事提供・町警戒対策室との連絡などを行った。

齋藤 7月16日(日)避難勧告発令時、町民からの電話問い合わせの対応



田んぼにも多大な被害を出した

不備が新聞報道されたが、顛末の説明と、どのように改善をしたか。

町長 災害時は、土日祝日と夜間は消防本部において、24時間体制で電話対応をしているが、マスクミヤ町民に対し周知が行き届かず、苦情が寄せられることとなった。ただちに対応を協議し【災害時には時間外の切り替えを解除し、住民生活課の電話に集中的に着信するようにシステムを操作することとした】結果その後はトラブルや苦情もな

く対応している。
齋藤 豪雨被害は河川の氾濫もあるが、農業用水路による被害もある。町民に被害が及んでいる以上、町が関与し町民の安全安心を確保するべきではないか。

除雪事故は、発注者である町が事故処理 に関し指導すべき

町長 浸水対策として、馬場目川に設置されている上横置頭首工の改修を県営事業で実施しており平成31年の完成予定である。内川川は湯ノ又町内会と戸村土地改良区から身ノ淵頭首工の改修の財政支援を求めた要望書が出され、町としても可能な限り支援をす

齋藤 今年、除雪作業時の物損事故で、被害者・町・除雪業者の三社が立ち合い、除雪業者の過失が確認された。除雪業者は修理を約束したが、7月まで修理されず、被害者は弁護士に相談し解決した。除雪作業依頼者であり事故現場に立ち会い除雪業者に修理を命じた町として、修理

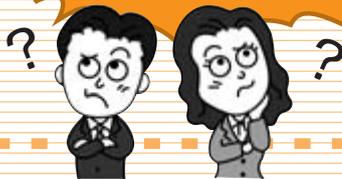
についても指導・確認の責任があるのではないかと。
町長 町・除雪業者・被害者の三者で現地に物損箇所を確認し、除雪業者に修理を依頼、被害者も納得したと確認した。その後は修理をしたかの確認はしていない。町の確認不足により被害者に多大なご迷惑を掛けたことに対しお詫びする。



除雪作業は危険がいっぱい

齋藤 除雪業務委託契約書を見直しすべき。
町長 除雪の業務委託契約書に、4月末まで事故箇所の修繕を完了させ、完了報告をすること、修繕が完了できなかった箇所も報告するとの内容を追加する方向で検討している。

あれ



なんとになったべが!

平成28年9月定例会一般質問より

問

未就園児に対する、居場所作りの充実を。

答 「わんパーク」「子育てサロン」のあり方を再検討する。

現在

平成29年8月1日に、もりやまこども園の一角に、園とは別棟の「こどもの木」が開設され、月曜～金曜の9時～15時30分まで、いつでも自由に利用でき、親子で遊ぶこともできるようになった。

ほかに、育児相談・ママ友交流・サークル活動・読み聞かせ会などもできる。



開設された「こどもの木」

問

農業・林業の6次産業化を進めるべき。

答 国・県の制度を活用し振興策を進める。

現在

地方創生事業支援制度を活用し「キイチゴビール」の商品化と「組子コースター」のパッケージの商品化について2業者を支援している。

問

町の111橋梁の維持管理計画はできているのか。

答 26年度から点検に主眼を置き、修繕計画が先送りとなっている。

現在

今年度広ヶ野橋の詳細設計を実施し、来年度補修工事を予定している。以降順次緊急度の高い橋から補修を実施していく。

問

ふるさと納税を町内産業、地域経済活性化のために内外に大いにPRするべき。

答 返礼品は、寄附金に対する還元率を60%とし、他自治体より高く設定している。

現在

自治体によるふるさと納税の返礼品競争が過熱しているとして、過度な返礼品提供に関しては是正するよう、本年4月1日に総務省から要請があったため、9月から40%に引き下げるなどの措置を講じているが、返礼品の種類を増やすなど町特産品の販売促進を図る対応もあわせて行っている。

(佐々木仁茂)

陳情と意見書

五城目町議会が議決した意見書を各関係機関に提出しました。

採択
◆ 地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情

連合秋田男鹿潟上南秋地区連絡会
議長 太田 修

意見書

2018年度の政府予算、地方財政の検討にあたっては、経済再生と財政再建の好循環を実現するため、歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実、地方財政の確立を求める。

提出先

内閣総理大臣 安倍 晋三
内閣官房長官 菅 義偉
総務大臣 野田 聖子
財務大臣 麻生 太郎
内閣府特命担当大臣 茂木 俊充
経済産業大臣 世耕 弘成
内閣府特命担当大臣 梶山 弘志

不採択
◆ 「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情

全国森林環境税創設促進議員連盟
会長 板垣 一徳

陳情不採択に反対の議員

畑澤 洋子

陳情不採択に賛成の議員

荒川 滋 椎名 志保
佐藤 慶彦 小林 正志
斎藤 晋 佐々木仁茂
石井 光雅 伊藤 正春
佐藤 重信 千田 峯夫
荒川 正己 石川 交三

欠席した議員

館岡 隆
(石井 光雅)

議員研修報告

南秋田郡の議員が勢ぞろい

研修名 南秋田郡議会議員大会
研修期間 7月27日
研修先 井川町役場
講演 医療保険制度改革を巡る昨今の情勢と新しい国民健康保険制度の概要について

講師 秋田県長寿社会課国保改革準備・医療指導室 室長 伊藤 仁志 氏

参加議員

荒川 滋 椎名 志保
佐藤 慶彦 小林 正志
斎藤 晋 佐々木仁茂
畑澤 洋子 石井 光雅
佐藤 重信 館岡 隆
千田 峯夫 荒川 正己
石川 交三

より良い議会広報を目指して

研修名 秋田県町村議会広報研修会
研修期間 8月1日
研修先 秋田市ルポールみずほ
講演 「住民に読まれ

議会活動が伝わる」
～議会だよりの基本と編集

講師

議会広報コンサルタント 芳野 政明 氏

参加議員

荒川 滋 椎名 志保
佐藤 慶彦 小林 正志
斎藤 晋 佐々木仁茂
畑澤 洋子 石井 光雅
佐藤 重信

議会活性化の手法を学ぶ

研修名 秋田県町村議会議員研修会
研修期間 8月1日
研修先 秋田県市町村会館
講演 「質問力向上による議会活性化について」

法政大学法学部教授 廣瀬 克哉 氏

「激動期に入った政局」
毎日新聞論説副委員長 人羅 格 氏

参加議員

荒川 滋 椎名 志保
佐藤 慶彦 小林 正志
斎藤 晋 佐々木仁茂
畑澤 洋子 石井 光雅
伊藤 正春 佐藤 重信
館岡 隆 荒川 正己
石川 交三

決算審査の手法を学ぶ

研修名 自治体決算の基本と実践
～行政評価を活用した決算審査～

研修期間 7月26～27日
研修先 滋賀県大津市・全国市町村国際文化研修所

参加議員 伊藤 正春

自治体財政を学ぶ

研修名 地方財政制度の基本と自治体財政

研修期間 8月16～18日
研修先 滋賀県大津市・全国市町村国際文化研修所

参加議員 荒川 滋 伊藤 正春
(佐藤 慶彦)





くりっこ劇団

『楽しい時間を届けます』



代表 松橋 勇子さん（浅見内）
（中央）

◆どのような会ですか。

松橋 幼稚園の先生仲間だった小玉節子さん、小玉洋子さんの3人で、五城目の話し言葉で人形劇や演劇を行っています。

◆どんな活動をしていますか。

松橋 昔話や五城目の地区に伝わるお話を地域の交流の場や、老人福祉施設、小学校や保育園などで発表させていただいております。

◆大切にしていることは。

松橋 まずは観て楽しんでいただきたいです。子ども世代には、昔話や五城目にまつわるお話を伝えていくことで、ふるさと五城目に愛着を持っていただけたらなと考えています。

す。

大人や高齢者の方たちには、昔を懐かしみ、楽しい時間を過ごしていただきたいと思っています。

◆良かったことは。

松橋 皆さんに観ていただくことはもちろんですが、3人集まって人形や小道具を作ったり、公演に向けて練習することが何より楽しく、日々の心の糧となっています。

◆今後の活動は。

松橋 自分たちのペースで無理なく活動していきたいと思っております。新しいレパートリーにも積極的に取り組み、いろんな方に観ていただけることを励みに、これからも楽しみながら続けていきたいです。

（椎名 志保）

がんばってます

『文武両道を目指して』



五城目第一中学校3年生 生徒会長
菅原 まさよし 正義さん
（築地町）

周年は最高の舞台になったと思います。

私は五城目第一中学校の生徒会長を務めています。生徒会執行部では、『創造』をスローガンに掲げ、生徒たちが主体となって積極的に活動し、自分たちの手で五一中の歴史を創って行くという目標を立てました。

今年五一中は、創立70周年を迎えました。体育祭や五中祭も『70』にちなんだ企画をたくさん行い、私たちが盛上げた五一中誕生70



私は潟上市の飯田川ラグビースクールに通っています。秋田県内のそれぞれの中学校の部活動と両立しながらもラグビーをやりたいという人たちが集まっています。中学校ではバスケット部に所属していましたが6月の総体で引退したため、これからラグビーシーズン真っ盛りとなります。大会には青森と合同で『北東北U-15』として出場します。北海道や岩手など他県の強豪チームに勝てるよう、日々体力作りなどを頑張ります。

今後はラグビーと共に、受験勉強にも本腰を取り組み、第一志望校合格を目指して頑張っていきます。

（荒川 滋）

編集

後記



毎年のように日本列島いたるところで大雨による洪水が発生する。今年も九州北部で甚大な被害があった。

比較的災害の少ない秋田県も7月、8月、3度の水害に見舞われ、本町も大きな被害が発生した。人的被害がなかったことは、不幸中の幸いである。

8月29日早朝、携帯電話でJアラートが鳴り響いた。北朝鮮がミサイルを発射したので、頑丈な建物に避難するようとのこと。頑丈な建物はどこにあるのか。ミサイルは発射から14分後の6時12分ごろ、襟裳岬の東方約1.180キロの太平洋上に落下した。

又、9月3日には6回目の核実験を実施した。それに対する制裁は、各国の足並みがそろわず、北の將軍様のしたい放題、なすがままである。いつどんな形で結末を迎えることやら。

町民の安全安心を祈る。
石井 光雅